



# WHA GROUP NEWS

WHAグループニュース <http://www.wha-group.com>

vol.30

## WHAグループがプリアック・デーン地区に「Clean Water for Planet」プログラムの一環として廃水管理・処理プロジェクトを引き渡す



バンコク、2019年5月24日ーWHAコーポレーション株式会社(WHAグループ)は、ラヨーン県プリアック・デーン地区の廃水管理・処理プロジェクトが完成し、自治体への引き渡しが行われたことを発表しました。この新施設はプリアック・デーンにあるイースタン・シー

ボード工業団地(ラヨーン)(ESIE)の近くに位置し、1日あたり400立方メートルの処理能力を備えており、植物と微生物の自然の力を利用した技術である人工湿地で構成されています。新しい廃水管理・処理システム設置の発端となったのは、偉大なるプミポン・アドゥンヤデート前国王陛下が推進した、廃水を生物学的に処理する取り組みとプロジェクトでした。この施設は水質を改善するためのWHAのCSRプログラム、「Clean Water for Planet」の一環として開発されました。このプロジェクトは体系的な廃水管理を導入することの重要性に関して工業団地入居企業と地域住民の意識を高め、衛生的で安全な水を利用できるようにすることも目的としています。

このニュースを発表したWHAコーポレーション株式会社のジャリーボン・ジャルコーンサクン会長兼グループCEOは、同プロジェクトがWHAグループのCSRプログラムの一環で、近隣の地域社会にプラスの変化を生み出すことを目的としていることを説明しました。同会長兼グループCEOは次のように述べています。「このプリアック・デーン地区とのパイ

ロット・プロジェクトは環境だけでなく、地域住民の教育、健康と幸福に関する弊社の関心が組み合わされたものです。WHAグループは自社の工業団地周辺に健康的で力強い地域社会を構築することを目的として一連の活動を開始し、認識向上プログラムを実施して地域住民と直接的に接することによってコミットメントを示します。また、タイランド4・0政策の目標達成にも全力を尽くします。」

同プロジェクト完了の発表にあたり、WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のウィット・ジャティカーンサクン工業・海外担当最高執行責任者は次のようにコメントしています。「このプロジェクトは東部経済回廊(EEC)における弊社の工業団地近隣の地域社会とWHAグループの結び付きを反映するものであるため、私たちはこのプロジェクトを誇りに思っています。弊社は最善の工業団地の施設とサービスを提供し、環境を保護して維持することに情熱を注いでいます。責任ある姿勢が伴わなければ、成長と進歩は実現できません。」このプロジェクトのために、WHAは人工湿地の建設と資金調達を担いました。施設が完成し

た今、当グループは1年間にわたりシステムの運営費用を負担し、弊社のエンジニアリングチームが設備の運用を行います。同チームは他の自治体も追従するよう動機付けるために、システム運営の進捗について報告し、蓄積された知識と経験を共有して、プリアック・デーン地区自治体のスタッフの訓練を支援します。

ラヨーン県プリアック・デーン地区自治体のサコーン・アトラクサ区長は次のように述べています。「WHAグループの助力と支援により、地区の環境改善で極めて重要な役割を果たす効果的な廃水処理システムを整備することができました。私たちは住民にメリットをもたらす技術や手法について詳しく学ぶ努力を続けると共に、このシステムと同様に運営が容易で信頼性が高く、費用も格安なプロジェクトがさらに生まれることを待ち望んでいます。それによって地域社会が向上し、前向きで持続可能な好ましい影響が広がります。」

WHAグループとプリアック・デーン地区自治体は地域住民の環境保護に対する意識を高め、教育の価値を付加する取り組みを今後も続けていきます。



完全に統合された物流、工業団地、公共インフラサービスと電力、およびデジタル・プラットフォーム分野におけるタイのリーダー企業、WHAグループの子会社であるWHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社は、同グループがタイで運営する10か所目の工業団地であるWHAイースタン・シーボード工業団地3(WHAESEI3)を開業したことを明らかにしました。EEECに位置し、効率的なインフラストラクチャーと世界水準の工業向け

サービスを完備したWHAESEI3は、様々な分野の投資家にご利用いただくための準備が整いました。特に次世代自動車、ロボティクスとオートメーション、航空、物流などをターゲット産業に定めています。

WHAESEI3は、様々な分野の投資家にご利用いただくための準備が整いました。特に次世代自動車、ロボティクスとオートメーション、航空、物流などをターゲット産業に定めています。

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」



写真は、WHAコーポレーション株式会社のジャリーボン・ジャルコーンサクン会長兼グループCEO(中央)、WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のデビッド・ナードン工業・国際担当グループ・エグゼクティブ(左から3人目)、WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のウィット・ジャティカーンサクン工業・国際担当最高執行責任者(左から2人目)、WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のラッタ・ロジャナウライウッド工業団地顧客開発担当副社長(左端)、Chengshanグループ取締役会長のMr. Che Hongzhi(右から3人目)、Prinx Chengshan社ゼネラルマネージャーのMr. Che Baozhen(右から2人目)、中国銀行(タイ)のCEO兼副責任者のMr. Li Feng(右端)

3の工業用地280ライ(44・80ヘクタール)にタイおよび東南アジアにおける同社初の工場が建設されます。新工場は2020年半ばまでに稼働開始する予定です。

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

## WHAグループがタイで10か所目の工業団地を開業 WHAESEI3 シーボード工業団地3 最初の入居企業は中国のPrinx Chengshan Tire社

工業団地、WHAESEI3の開業という節目にあたり、最初の入居企業としてPrinx Chengshan Tire(タイランド)社を迎えることを誇りに思います。タイにおけるPrinx Chengshan社の投資は、タイの自動車産業が前進するための重要な一歩であり、海外の投資家にとってEECが魅力的であることの証です。近日中にさらに多数の企業が入居する見込みで、今後5年間のWHAESEI3への投資額は1,400億バツ(44億1,000万米ドル)と見積もられています。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

WHAESEI3は、Prinx Chengshan社が事業を拡大し、国際的な競争力を高めるための理想的な選択肢です。」

## WHAUPがCLMV諸国での公共インフラサービス事業を拡大 ベトナムの水道供給会社「Cua Lo」の株式47・31%を取得

バンコクーWHAユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社(WHAUP)はCLMV諸国における公共インフラサービス事業の拡大を進めており、このたび子会社の「WHAUPゲアン株式会社」がベトナム、ゲアン省の水道生産・供給会社、Cua Lo社の株式47・31%を取得しました。投資額は3,190万バツに及びます。

WHAユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社(WHAUP)のウィット・チュンワタCEOは、同社の子会社である「WHAUPゲアン株式会社」がベトナム、ゲアン省の水道供給会社、「Cua Lo Water Supply株式会社」(以下「Cua Lo社」)の株式47・31%を2,34億5,552万バツ(3,190万バツ)で取得したことを明らかにしました。

Cua Lo社はベトナムのゲアン省で水道水の生産・供給を行うために1998年に設立された会社で、現在1日当たり3,000m<sup>3</sup>の水道水生産能力を有しています。同社は生産能力の拡大を進めており、2019年第2四半期までに1万3,000m<sup>3</sup>となる予定です。

# WHA インダストリアルゾーン1 - ゲアン

初期の開発エリア145ヘクタールが現在、投資家に提供可能となつています。投資家は経済区の特別な投資奨励策と投資家向けサポートを活用できます。この3,200ヘクタールのプロジェクトが完成すると、ベトナム中央北部で最大規模かつ世界水準の工業区になります。



WHA インダストリアルゾーン1 - ゲアンはタイに本拠を置くWHAグループにとってベトナムで初めての工業区投資であり、ベトナムと東南アジア地域に対するWHAグループのコミットメントを明確に示すものです。

また、ゲアン省はビン市周辺にビン国際空港、3つの海港、南西部と北部を結ぶ鉄道網があり、8本の国道や高速道路が省内を走っています。インフラに恵まれています。さらに、2021年に予定されているハノイとビン市を結ぶ自動車道路の完成により、同省の接続性は一層高まります。ベトナム政府と省政府当局の献身的な支援により、ゲアンはビジネス、教育、製造、輸送および物流の総合的なハブとなり、大手製造企業と投資家が国の発展に一層貢献するための一等地となっています。

このことが、WHAグループがゲアンに投資し、工業区を建設することを決めた理由です。WHA インダストリアルゾーン1 - ゲアンは優れた設計のインフラストラクチャーと水道などの公共インフラサービスを提供しています。これには工業用水、廃水処理、電力供給、最新の通信システムのほか、雨水排水と洪水防止が含まれます。また、WHA インダストリアルゾーン1の専門的な運営・管理チームによる環境監視サービスも提供されます。

WHA インダストリアルゾーン1 - ゲアンのターゲット産業には以下が含まれます。

- ・工業・自動車、プラスチック製品、軽金属、繊維/衣料品、建築資材
- ・消費者・食品加工、飲料、付加価値農業、日用消費財 (FMCG)、電化製品
- ・テクノロジー・エレクトロニクス、医療用アクセサリ、ソフトウェア、スマートフォン、通信
- ・物流・低温貯蔵、内陸コンテナ・デポ、近代的な倉庫、ロジスティクスサービス、運輸

498ヘクタールのフェーズ1の後、さらに2020〜2038年にかけて6つの開発フェーズが計画されており、完成時には総面積3,200ヘクタールとなる予定です。

フェーズ1の開発は順調に進んでおり、初期開発エリア145ヘクタールが現在、投資家に提供可能になっています。投資家はドン・ナム経済区管理委員会 (DNEA) が提供する実用的なワンストップサービスを利用できます。また、輸入税と法人税に関する特別な投資特典も得ることができます。

タイにおけるWHAの30年間の経験を活用

WHA インダストリアルゾーン1 - ゲアンの戦略的立地条件とDNEAの投資奨励策に加えて、投資家はタイで世界水準の工業団地を開発し、インフラストラクチャーとカスタマーサービスに関して国際的な水準を実現してきた



WHA コーポレーション株式会社のジャリーボン・ジャルコンソン会長兼グループCEO

WHAグループの30年にわたる経験からメリットを得ることが出来ます。現在、WHAグループはタイで11か所の工業団地を運営しており、総敷地面積は7,800ヘクタールを超え、世界中の企業750社が入居しています。総投資額は320億米ドルと見積もられています。

WHAグループは1988年の設立以来、自動車、石油化学、エレクトロニクス、消費製品およびその他の輸出産業のクラスターを形成し、発展させる上で有益な役割を果たしてきました。フォード、GM、いすゞ、マツダ、MG、BYD、スズキなどの国際的な自動車メーカーが世界のトップOEM部品サプライヤー32社を含む自動車部品メーカーと共に、タイの製造拠点としてWHA工業団地を選択しています。

WHAグループの評判のもう一つの強力な要素は、環境の保護・保全努力です。WHAグループはタイにおける会社設立当初から、自社の工業団地が持続可能な形で環境と調和して共存しなければならぬと常に考えてきました。このため、弊社はすべてのインフラストラクチャーの設計に注意を払い、自らが運営するすべての公共インフラサービスが環境に及ぼす

影響を最小限に抑えるよう管理しています。WHAグループは自社の幅広い経験を生かし、タイの11カ所の工業団地と同じモデルとノウハウをWHA インダストリアルゾーン1 - ゲアンに採用し、同じ環境基準を適用する態勢を整えています。弊社は、環境を守るためには、特に開発の最も初期の段階において環境保護プログラムの実施が必要不可欠であることを確信しています。

例えば、開発地総面積の約14%

WHAグループは自社の幅広い経験を生かし、タイの11カ所の工業団地と同じモデルとノウハウをWHA インダストリアルゾーン1 - ゲアンに採用し、同じ環境基準を適用する態勢を整えています。弊社は、環境を守るためには、特に開発の最も初期の段階において環境保護プログラムの実施が必要不可欠であることを確信しています。

## スマート・テクノロジーによりWHAグループが新たな高みへと発展

スマート・テクノロジーの到来により、デジタル変革の大波が押し寄せ、業界に影響を及ぼしつつあります。世界中の産業が相互に接続され、オートメーションと情報システムへの依存度が高まっているため、タイのWHAはこれらのスマート・テクノロジーを採用することにより、すでにデジタル変革を開始して、WHAグループの4つのビジネスハブの顧客企業に一段と優れたサービスを確実に提供し、ビジネスの促進を実現しています。

工業用インフラサービスと電力、およびデジタル・プラットフォームの開発を専門とするトップ企業であるWHAグループは、スマート・ロジスティクス、倉庫と建物、倉庫管理、オートメーション・ストレージ、モノのインターネット、およびビッグデータの自動化に適合させるために、物流事業の設計と準備をすでに進めています。

付加価値サービスなどのスマート・テクノロジーを導入している工業団地では水位をモニタリングして警告を行うために洪水監視システムを設置しています。また、弊社では接続性と運営の安定性を高めるために主要な装置・機械にスマートセンサーを取り付けることを検討しています。

地は重要なリスク分野でも取り組まれています。例えば、一部の工業団地では水位をモニタリングして警告を行うために洪水監視システムを設置しています。また、弊社では接続性と運営の安定性を高めるために主要な装置・機械にスマートセンサーを取り付けることを検討しています。

モノのインターネット (IoT) と自動化されたソリューションにより、工業用地の利用、工業用水の生産プロセス、屋上ソーラーパネル、オンライン監視・管理システム、スマート送電網、廃水処理



デビッド・ナードン WHA グループ取締役会副会長兼工業・国際担当グループ・エグゼクティブ

**詳細についてのお問い合わせ先**

ゲアンの WHA マネジメント サービスベトナム株式会社の支社  
 所在地: 32nd Floor, Muong Thanh Song Lam Hotel, 13 Quang Trung Street, Vinh City, Nghe An Province, Vietnam  
 ビン事務所 TEL: (+84) 238 222 9999 FAX: (+84) 238 222 9998  
 ハノイ事務所 TEL: (+84) 243 574 6999

電子メール: invest@whavietnam.com  
 ホームページ: www.whavietnam.com

# WHA GROUPで更なる飛躍を目指す企業

## Matsui Eastern (Thailand) Co.,Ltd.

自動車等キーロック及びスイッチの請負組立



顧客の期待上回る高品質・高水準品を提供  
職業訓練制度で高卒者を採用。地域貢献も

マツイ・イースタン（タイ）は、愛知県豊橋市に本社を置くキーロックやスイッチなど自動車部品製造請負製造業「マツイ株式会社」のタイ法人。2003年に設立。7・4ライ（1ライ＝1600m）の土地に建つ、延床面積約1000万㎡の工場で操業を行っています。手掛けるのは、主に自動車の運転席回りにある各種スイッチ類やミラー、パワーウインドーなどの量産部品。必要な部品・部材を主にタイ国内で調達し、アッセンブリした上で部品メーカーに納入しています。請負量産を得意とはしていますが、大ロットから少量まで顧客ニーズには柔軟に対応することが出来ます。取扱品目も樹脂や基板など多種多彩で、さまざまな製品に当社の技術が活かされています。行動指針は「すぐやる・かならずやる・できるまでやる」。高い技術力を背景とした、提案型の積極的な営業が取引先企業との信頼の礎です。開発する技術、製品化する技術、量産する技術の3つを「マツイ魂」と呼んでいます。

製造業の集積するタイで、部品部材の現地調達には問題がなくなりました。求められているのは、玉石混合、数多ある部品部材点の中から最適なものを、価値の向上に欠かせないものを見つけ出し、組み立てる確かな眼と技術。日本で半世紀を超える当社の蓄積したノウハウと伝統が、これを可能としています。顧客の期待を上回る高品質、高水準、短納期。必要とされる所以です。さまざまな産業が進出し、労働者の賃金が上昇した結果、タイのモノづくりは大きな変革の時を迎えています。こうした時代の流れにも当社は果敢に挑戦を続けています。その一つとして、まず取り組んでいるのが部品の内製化。8年前の大洪水をきっかけに導入した3台の成形機はその一例です。内製化の推進は生産リスクの分散にも貢献します。取引先への納品を止めないためにも、こうした取り組みを続けていく考えです。



松井宏益会長は、カンボジアやラオスなど周辺国を合わせた「タイ・プラスワン」の必要性も痛感しています。賃金が上昇した結果起こるコスト競争。だからといって製品への安易な転嫁はできません。「安からう、悪からう」にも絶対に応じられません。その一方で、市場が成熟しつつあるタイでは、新たな市場やビジネス環境も育ってきています。周辺国との棲み分けを模索するなどして、解決策の構築を進めたいと思っています。

5年前からは、地域貢献を目的とした職業訓練制度を導入を始めました。今なお所得格差の残る東北部イサーン地方から、経済的な理由などで進学を断念した高校卒業生（満18歳）を訓練生として採用。2年間の時限付きで雇用する仕組みです。この間の賃金の支給はもろろんのこと、住み込みのための寄宿舎も提供します。

工場では一般のワーカーとともに働き、製造業の基礎と社会人としての素養を積んでもらいます。同時に、日系企業ならではのカイゼン（改善）や整理整頓などの5Sについては理解を深めます。こうして日本と同じ製造ラインで2年間働き、スキルを磨いた後は、各自が希望する新しい職場へ。この制度を活用して、これまでに約40人の若者が巣立っていきました。

当社工場が入居するイースタンシーボード工業団地（ラヨン）は、チョンブリー県との県境に近い内陸部にあります。洪水の心配は無く、供給上水道や電力にも何ら問題はありませぬ。高規格道路などの交通網も整備されており、日本人が多く居住するシラチャ1へも車で40〜50分と各地へのアクセスも抜群です。近隣にはワーカーも多く居住しており、これまで採用に困ったことはありません。日系などの取引先も周辺に集積しており、この上ない好立地と言えるでしょう。工業団地を管理するWHA社のスタッフは、いつも明るくフレンドリー。「困ったことはありませんか」と定期的な巡回サービスも行っています。当社をはじめ入居企業からの連絡や問い合わせへのレスポンスも早く、困った時に頼ることのできる力強い味方です。松井会長も「良いご縁に恵まれることができました」と話しています。マツイ・イースタン（タイ）のこれからの飛躍が楽しみです。

## 次世代自動車

ジャリーポーン・ジャルコンサクン  
会長兼グループCEO  
WHAコーポレーション株式会社

自動車産業は過去40年間にわたってタイの経済発展の主な推進力となってきました。昨年、自動車輸出はタイのGDPの6・5%に相当する1兆バート以上の収益をもたらしました。しかし、世界の自動車産業は先進技術、インフラストラクチャーの開発と消費者からの要求により、重大な変化に直面しています。「インドアストリー4・0」政策によって生産性の向上、デザインと創造の促進、新たなイノベーション開発のための産業用ロボットとオートメーションの採用が推進されています。その目的は業界内の既存の自動車メーカーのみならず、デジタル時代における無制限の競争を可能にするディスラプティブ技術の利用に熱心な、他の業界からの新規参入企業を支援してタイの競争力を最大化することです。

世界的な大手自動車メーカーであるダイムラー社は新世代の自動車を次の4つのカテゴリーに分類しています。1. 電気自動車2. 自動運転車3. コネクテッドカー（IoTを使用）4. シェアードサービス。これは先進的なイノベーションとスマート・テクノロジーを探し求める、自動車産業における世界的なトレンドを表しています。このイノベーションとテクノロジーにはクリーンエネルギー、電気部品、通信、制御用デジタル機器のほか、AIと高度なアルゴリズムの利用が含まれます。

東部経済回廊（EEC）の開発に即して、タイ政府は投資奨励のターゲット産業に次世代自動車産業を含めました。EECは現在、タイと東南アジア地域における主要な生産ハブとなっています。この決定が行われた目的は、自動車利用の世界的なトレンドに即して、タイで現在も生産されている内燃エンジンの使用を減らすことにあります。また、これによりアセンブリと製造ラインの効率向上に役立つ産業用ロボットなど、他の自動車関連産業や自動車に利用される電子システムに焦点を当てたスマート・エレクトロニクス産業、およびインターネット接続を拡大して付加価値の高い新世代の自動車を生産するデジタル産業の発展も促進されます。

さらに粉塵問題のため、政府は電気自動車（EV）の利用を推進する方向に進みます。従って、EVを推進する計画はコネクテッドカーと自動運転車の開発を進めるためのプラットフォームとしての役割を果たします。そして、これにより車内アプリ開発会社などのタイの新興企業がエンターテインメントや運転中の快適性を高めるアプリケーションを

（1ページから続く）

WHAUPのウィサートCEOは、ベトナムで人気の高い投資先の中で、ゲアンは交通網との接続が容易なため、ハノイとホーチミン市に次いで大きな可能性を持っていると指摘しました。ゲアンはハイウェイ11A、およびハノイとホーチミンを結ぶ鉄道に隣接しており、ヴィン国際空港からわずか10キロメートルしか離れていません。またCuolo深海港と現在建設中の3つの港も近距離にあります。さらに、ゲアンには特別経済ゾーンがあり、エレクトロニクス、繊維、食品、物流、FMCG、自動車部品などの分野への投資では政府の全面的なサポートを受けることができます。

ゲアン省ではこれらの前向きな見通しに基づいて家庭用と産業用の両方の水道需要が高まっています。この需要拡大はベトナム政府の奨励策によって促進されたベトナムの経済成長に即したものです。従って、Cualo社への投資はWHAUPにとって海外における公共インフラサービス事業からの利益という形でメリットをもたらします。

ウィサートCEOは次のように述べています。「この投資はWHAUPが長期的な投資目標の一部としてCLMV諸国、特にベトナムにおいて公共インフラサービス事業を拡大する上で重要なステップとなります。また、WHAグループの工業団地の外部に公共インフラサービス事業を広げるとい弊社の計画にも合致しています。

現在、WHAUPはベトナムにおいて公共インフラプロジェクトへの投資を行っています。同社はすでにWHAインダストリアルゾーン1でゲアンで水道供給事業を運営する権利を確保しています。同インダストリアルゾーンは現在、建設作業が進行中で、2019年の第3四半期に完成して本格開業する予定です。

開発したり、コネクテッド・デバイスのメーカーとサプライヤーが新世代の自動車産業のバリューチェーンに参加したりする機会がもたらされます。

自動車産業は重大なターニングポイントを迎えているため、東南アジア地域最大の生産ハブであるタイは、特にデジタル時代における自動車生産で生まれる無数の機会に適合し、後れを取らずに進む必要があります。様々な規模の企業を営む企業家たちは、この変化から直接的な影響を受けるため、主な支援者である政府当局との協力が非常に重要になります。この協力の成否により、タイの自動車産業が明るい将来を迎えて、タイが「中所得国の罫」を回避するための力となるか、あるいは過去の事例で見られたように後塵を拝して新興テクノロジーに取って代わられるかが決定される可能性があります。（2019年2月9日）



# WHA GROUP ニュースダイジェスト

## Industrial Development

### 航空宇宙業界の代表団が WHA ESIE 1とESIE (ラヨン) を訪問

海外の航空・宇宙産業の代表団が先日WHAイースタン・シーボード工業団地1 (WHA ESIE 1) とイースタン・シーボード工業団地 (ラヨン) を訪問し、WHAコーポレーション株式会社のシヤバス・チャンタチャイロート法人マーケティング担当取締役 (中央) による歓迎を受けました。一行は航空宇宙分野のサプライヤー企業、オマダ・インターナショナル (タイランド) 株式会社がある最先端の施設の総合的な見学などを行いました。同代表団は航空宇宙製造部門の堅固な成長ぶりを視察し、タイ国内の投資機会を探ることを目的としてタイを訪れました。



### 日本からの代表団がWHAインダストリアル・ディベロップメント社の EEC自動車産業クラスターを訪問

日本の財団法人国際情報化協働センター (CICC) の代表団が先日WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社を訪問しました。同代表団がタイを訪問した目的は、情報技術分野での協力関係を強化することです。一行はWHAの工業団地運営の概要について説明を受けた後、タイの自動車産業クラスターを構成しているイースタン・シーボード工業団地 (ラヨン) とWHAイースタン・シーボード工業団地1の見学を行いました。



### 福岡県の経済界代表団が WHAインダストリアル・ディベロップメント社を訪問

日本の福岡県の経済界代表団が先日WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社を訪れ、ラッタ・ロジャナウライウッド工業団地顧客開発担当副社長 (前列右端) による歓迎を受けました。同代表団は工業団地を視察し、タイのEECにおける投資機会を探るという任務を負ってタイを訪問しました。一行はWHAイースタン・シーボード工業団地1の賃貸用工場の詳細な見学を行いました。



### マヒドン大学の代表団が WHAインダストリアル・ディベロップメント社のESIE (ラヨン) とWHA ESIE 1を訪問

マヒドン大学公衆衛生学部の教職員からなる代表団がWHAの工業団地を訪れ、WHAインダストリアル・ディベロップメント社のウィット・ジラティカーンサクン工業・国際担当最高執行責任者 (中央) と、WHAコーポレーションのシヤバス・チャンタチャイロート法人マーケティング担当取締役 (前列右から4人目) による歓迎を受けました。一行はイースタン・シーボード工業団地 (ラヨン) とWHAイースタン・シーボード工業団地1の世界水準の製造施設を訪れ、WHA工業団地の運営方法を見学しました。この訪問で得られた情報は、EEC地域における教育研究と学術的サービスのカリキュラム開発に利用されます。



### 宮崎県の経済界代表団が WHAインダストリアル・ディベロップメント社を訪問

日本の宮崎県の経済界代表団が先日WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社を訪れ、ラッタ・ロジャナウライウッド工業団地顧客開発担当副社長 (前列右から2人目) による歓迎を受けました。同代表団は東部経済回廊 (EEC) における投資の可能性について調査し、日本とタイとのさらなる協力の機会について話し合うために来タイしました。一行はイースタン・シーボード工業団地 (ラヨン) とWHAイースタン・シーボード工業団地1をくまなく回り、タイ国内と海外の顧客企業が利用できるWHAの世界水準の施設とエンドツーエンドのインフラストラクチャーを見学しました。



### バングラデシュの投資視察団がWHAの工業団地を訪問

バングラデシュ投資開発庁 (BIDA) の職員が先日、WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社が開発したイースタン・シーボード工業団地 (ラヨン) とWHAイースタン・シーボード工業団地1を訪れました。一行はWHAインダストリアル・ディベロップメント社のスワッド・キッドソボン現場監督主任 (前列中央) による歓迎を受けました。同視察団は日本国際協力機構 (JICA) が支援する「バングラデシュにおける投資促進および産業競争力強化」協力プロジェクトの一環として、様々な業種の顧客に対応するために、WHAの工業団地運営の概略説明を受けました。また、世界水準の賃貸用施設と製造工場の現場見学も行いました。この訪問は、タイとバングラデシュの結び付きを強め、経済と投資での協力を促進することを目的としたものです。



### オハイオ州とペンシルバニア州の経済界代表団が イースタン・シーボード工業団地 (ラヨン) と WHAイースタン・シーボード工業団地1を訪問

Ohio Small Business Development Center (SBDC)、Northwest Pennsylvania Regional Planning and Development Commission、およびColumbiana County Commissionの経済界代表団がWHAの工業団地を訪問し、WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のラッタ・ロジャナウライウッド工業団地顧客開発担当副社長 (左から2人目) による歓迎を受けました。一行はイースタン・シーボード工業団地 (ラヨン) とWHAイースタン・シーボード工業団地1 (WHA ESIE 1) から成るタイの自動車産業クラスターの世界水準の施設をくまなく見学しました。また、高品質の製品を様々な業種の顧客に供給している米国企業、Ampacet社の地域本社と製造工場も訪れました。



### オーストラリアの貿易使節団がWHAスマート・ウェアハウスを視察 WHAメガ・ロジスティクスセンターで

オーストラリア貿易・投資委員会 (Austrade) の委員と実業家の代表団が先日、WHAコーポレーション株式会社を訪れて、サムットプラカーンのWHAメガ・ロジスティクスにあるWHAスマート・ウェアハウスを視察しました。Austradeのシュアード・リース貿易・投資委員 (左端) に率いられた同代表団による今回の訪問はパートナーシップの構築が可能な分野を特定することを目的としたもので、「タイへのスマート・ロジスティクス&ウェアハウジング・ミッション」の一環です。



## カスタマーニュース

### TOTO (タイランド) 社が WHAサラブリ・インダストリアルランドで仏教行事を開催 第3工場建設工事の安全を祈願

日本の衛生陶器大手メーカーの子会社であるTOTO (タイランド) 社は先日、WHAサラブリ工業団地 (WHA SIL) で建設中のタイ第3工場のために仏教行事「メリットメイキング・セレモニー」を開催しました。この行事に出席したWHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のタニン・スプーンラン工業団地開発・工業・国際担当副社長 (右側) は、TOTO (タイランド) 社と本社スタッフに恵みが与えられるよう祈りを捧げた後、同社のシマダ・タカヤス社長 (左側) に記念品を贈呈しました。



## CSR

### WHAグループがチョンブリ県の高齢者を対象に 無料インフルエンザ予防接種を実施

WHAグループは先日チョンブリ県の5つの地区を訪問し、400名の高齢者にインフルエンザの予防接種を行いました。WHAコーポレーション株式会社のシヤバス・チャンタチャイロート法人マーケティング担当取締役は、特に雨季の最中に重い病気にかかるリスクを減らすために免疫機能を高めることの大切さについて地域住民に説明しました。寺院、学校やコミュニティセンターで実施されたこの活動は、人々の健康と幸福を促進することを目的としたもので、WHA工業団地周辺の地域住民に対する社会貢献の取り組みの一環です。



### WHAグループが第9回教師向けアートキャンプを開催 児童の間に美術を愛する心を植え付けることが目的

WHAグループは先日、チョンブリ県とラヨン県で毎年恒例の教師向けアートキャンプを開催しました。同キャンプは今年で9回目となります。WHA工業団地周辺に位置する16の学校と幼稚園から合計38名の教師が特別な美術教育セッションに参加し、美術を通して感情と創造性を表現しようという気持ちを児童に起こさせる方法を学びました。アートキャンプの閉会式ではWHAコーポレーション株式会社のシヤバス・チャンタチャイロート法人マーケティング担当取締役 (3列目中央) が4日間のコースの修了者に祝辞を述べました。今年のコースは「水は命」 (Water is Life) をテーマとして実施されました。



**10th** WHAの工業団地

# WHA

イースタン・シーボード工業団地

ロボット、航空、物流及び次世代自動車産業を  
ターゲットとする東部経済回廊 (EEC) 域内投資奨励ゾーン

- 自動車・ハイテク・航空宇宙・消費財産業およびその他製造業にとつてのロケーション
- レムチャン深海港至近
- イースタン・シーボード工業団地 (ラヨン) および  
WHAイースタン・シーボード工業団地1まで10km
- 国道344号線まで8km

WHA Industrial Development Plc.  
T. 662 719 9555 www.wha-industrialstate.com  
Email: marketing@wha-group.com